

# 日本比較文化学会 中部支部 平成 30 年度例会

(※敬称略)

I 例会日程 平成 31 (2019) 年 3 月 23 日 (土)

II 例会スケジュール 13:00～17:00

- ・ 12:30～ 受付
- ・ 13:00～ 開会の挨拶 (中部支部長: 白鳥 絢也)
- ・ 13:00～ 勉強会
- ・ 14:20～ 休憩
- ・ 14:30～ 研究発表
- ・ 16:30～ 休憩
- ・ 16:40～ 総会
- ・ 16:50～ 閉会の挨拶 (中部支部副支部長: 澤田 敬人)

## III 会場までのご案内

場所: 愛知大学豊橋キャンパス 2号館 3階 230 教室

〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町 1-1 電話: 0532-47-4161



交通案内: 「豊橋」駅より豊橋鉄道渥美線(「新豊橋」駅乗り換え)渥美線「愛知大学前駅」から徒歩1分です。 < <http://www2.aichi-u.ac.jp/guide/access#b-407289> > より転載

## 勉強会

愛知大学豊橋キャンパス 2号館 3階 230教室

3月23日(土) 13:00~14:20

テーマ

### 普遍的幸福論の研究—愛知地域文化から—

大崎 洋 (愛知大学総合郷土研究所)

愛知(尾張・三河)は日本の外縁地域の代表である。政治・経済・文化において日本の中心になったことはない。『愛知県の教育史』には「愛知県における教育・文化の現状を見ると、東は東京、西は京都・大坂に挟まれてその発達は低調。極端な表現であるが、東・西両文化の吹きだまりともいえる。」と著されている。幸福とは何かを念頭において、外縁の代表とされる、愛知の地域文化を考察することにより、普遍的幸福論を導きだしたい。具体的には、1. 地域社会と宗教との関わり(名古屋市)、2. 地縁組織の幸福論(名古屋市)、3. 菩薩としての細井平洲と平島町内会の今(東海市)、4. 渡辺崋山の現代的意義(田原市)、5. 大衆文化としての昭和歌謡喫茶(三河地区)からの考察である。

「1.」、「2.」は『比較文化研究 NO128、133』に掲載して頂いたもので、今回の勉強会では、「3. 菩薩としての細井平洲と平島町内会の今」からを中心に述べる。

内村鑑三が著『代表的日本人』の中で、江戸時代屈指の儒者とほめた、細井平洲(1728-1801)は尾張国知多郡平島村(現在は東海市荒尾町)の出身である。上杉鷹山の師としてあまりにも有名であるが、尾張藩に仕えてから藩校(明倫堂)の督学、継述館総裁として多くの功績を残している。そして巡村講話により身分の差別なく、領民に対しての教育に精力的に取り組んだ。まさにその行動は菩薩といえるものであり、封建社会ではあるが、誰よりも人々の幸福を願っていた。平洲没後290年になる今、出身地の平島町内会員に対して「平島町内会員への地域活動・幸福に関するアンケート」を行い、菩薩ともいえる平洲の精神がどのように息づいているかをアンケート結果から考察した。

さらに、「4. 渡辺崋山の現代的意義」からは、三河国田原藩の家老・文人画家・蘭学者として活躍し、最期は塾居〜自刃という非業の死を遂げた渡辺崋山(1793-1841)から幸福論という観点から学ぶ意義を、また「5. 大衆文化としての昭和歌謡喫茶(三河地区)」は、客が順番にカラオケを歌うという形式で、見ず知らずの人達と一緒に歌を歌って楽しむ空間である歌謡喫茶(カラオケ喫茶)は、世界に誇る日本独自の大衆文化といえるものである。これを調査することから普遍的幸福論について考察していく。

## 研究発表

愛知大学豊橋キャンパス 2号館 3階 230教室

3月23日(土) 14:30~16:30

※発表時間は、研究発表1件につき20分です。(うち発表15分、質疑応答5分)

司会：澤田 敬人（静岡県立大学） 白鳥 絢也（常葉大学）

14:30~14:50

発表題目

### *Star Trek* の Mirror Universe

——*Star Trek: Discovery* は理想主義的未来像をどのように語るのか——

川口 雅也（浜松学院大学）

概要 本 episodic TV から serialized TV へと形を変えた新たな *Star Trek* において、原作者 Gene Roddenberry の理想的な未来像の描き方にも変化があるのか考察する。

14:50~15:10

発表題目

日本の教育政策と世界の教育の動向に関する一考察  
— 「教員免許状更新講習」受講者の意見を参考に—

白鳥 絢也（常葉大学）

概要 本発表では、筆者が担当した教員免許状更新講習（必修領域）「教育の最新事情：国の教育政策と世界の教育の動向」より、日系ブラジル人の子どもへの教育を通して考察する「世界の教育の動向」を紹介する。また、受講者の意見を解答用紙から読み取ることを通して、今後の本講習の構成や内容について検討する。

15:10～15:30

発表題目

19世紀後半の西洋思想における「部分と全体」  
ーベルクソン、ランボー、ニーチェにおける「生の全体性」の追求ー

川里 卓（名古屋大学大学院）

概要 本発表では、ベルクソン、ランボーおよびニーチェの思想の検討を通して、19世紀後半の思想に見られる「部分と全体」という特徴を示し、彼らの思想や芸術が「生の全体性」の表現を追求する試みであることを示す。

15:30～15:50

発表題目

ラフカディオ・ハーン「英語教師の日記から」における翻訳の役割

風早 悟史（山口東京理科大学）

概要 ラフカディオ・ハーン「英語教師の日記から」について、複数の邦訳版を比較することにより、翻訳が単なる情報伝達的手段を越えた役割を果たし得ることを論じる。

15:50～16:10

発表題目

日米の大学協同による異文化理解教育の推進（1）  
ー対等な国際交流を目指してー

杉本 貴代（愛知大学短期大学部）

概要 本研究発表では、日米の2大学協同による異文化理解教育の3年間の取り組みを紹介し、学生主体の異文化交流プログラムの効果を質問紙調査により検討する。

16:10～16:30

発表題目

小学校英語教育についての一調査  
—スモールトークを用いたコミュニケーション活動の実践—

松家 鮎美 (岐阜女子大学)

概要 本研究では、2020年の文部科学省の新学習指導要領（外国語活動）より始まるスモールトークの活動について取り上げる。新要領の全面実施に先立ち始まった公立A小学校における取り組みを観察し、その効果と課題について考察する。

**IV 総会 (16:40～16:50)**

**【議題】**

1. 会員数報告
2. 平成30年度事業報告
3. 平成31年度事業計画
4. 学会誌『比較文化研究』の編集について

**懇親会**

本支部会終了後、「懇親会」を予定しております。(18時00分～)

(※豊橋駅徒歩2分「広小路でんでん」を予定)

当日会場で申し込みを受け付け、人数を確定します。